

事業所名		えのん		公表日 2025年2月28日		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善目標
			環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	
	2	職員の配置数は適切であるか。	3	4		■子どもの状態や障がいにより対応の難しさはあり。臨機応変に声をかけている。職員数としてはクリアだが、利用人数が多い場合や子どもの状況によっては対応が十分にできていないのではと感じることがある。現場は数が全てではない。
	3	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	4	3		■現時点においては対応は可能。今後不具合があった場合には工夫は必要かも。できる範囲での工夫はしていると思うが整っているとはいえない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	1	■情報共有が不十分であるため、改めて発信していく必要あり。
	5	保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	1	6		■進行中
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか。				今回は初回の評価実施であり、令和7年3月に公表予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				第三者委員会の設置をしていない。
	8	職員の資質の向上を図るために、研修の機会を確保しているか。	4	2	1	■リタリコ研修のみ。■情報の入手と余裕を見つける努力は必要。■各専門的な勉強会を行っていきたくと考えている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2		■児発管の独断でなく、職員みんなで子どもの様子を出し合い作成でている。■保護者との密なアセスメントは課題。今後専門的支援を行っていくためにニーズ等を把握して作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	5	1	1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2		■日ごとの担当者で児発管、管理者等で活動が計画されている。スタッフそれぞれの意見が集まるミーティングには制約がある。■個人で行うことが多い。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		■基本的に担当者が常に工夫して提供している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	4	3		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1		■今後子どもたちの特性に応じて作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		■支援終了後ではなく、翌日の朝のミーティングで行っている。

	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		■保護者の声をもう少し反映させたい。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	1			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。					医療的ケアが必要な児の受入れなし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	1		■今後行っていく必要を感じている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3			■まだ経験はない。準備を進めたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	2			
	26	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。		4	3		■利用されている子どもはいるが、具体的なやりとりは少ない。スポーツ教室の際、先生の子どもさんとの交流をもててはいる。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者等に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	1	4	2		■積極的かと言えば疑問	
保護者への説明等	30	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	2			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	1	1	5		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	2			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			■ジェスチャー等分かりやすく伝えていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	3	■方法等考慮する必要あり。■今のところ活動を通じて地域との関わりを持ち始めている段階。
非常時等の対応	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		■保護者に対して積極的に周知の必要あり。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	2	■アレルギーに関しては保護者からの情報提供で確認している。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		